



応用生態工学会第20回大会（20周年記念東京大会）

「小さな自然再生が中小河川を救う！Ⅴ」

2016年9月2日（金） 9:00～11:00 @東京大学弥生キャンパス

【開催趣旨】

2012年以來、自由集会「小さな自然再生が中小河川を救う！」のタイトル名により4回の集会を積み重ねてきました。2014年度の事例集制作と発刊を契機として、全国各地に様々な取り組みが行われるようになり、多様な主体による参画が推進されています。技術面においても、魚道や河道変化に限らず、様々な工夫が取り入れられるほか、普及に伴って安全面への配慮についても考え方が整理されつつあります。

今回の集会では、これまで紹介されてこなかった方法（シードバンク、グリッドバンク）や行政による参画の方法（市、県や国）、そして安全管理についての話題を取り上げ、より実務的に展開し、より多くのセクターからの参加を促すための方策について議論したいと思います。

- 日時： 2016年9月2日(金) 9:00-11:00
- 会場： 東京大学弥生キャンパス 一条ホール
- 企画者： 林博徳（九州大）、三橋弘宗（兵庫県立大）、原田守啓（岐阜大）
- プログラム：

司会進行：三橋弘宗（兵庫県立大）、林博徳（九州大）

■ 話題提供 各15分程度×5件（計75分程度）

① これまでの経緯と開催の趣旨説明

② 事例紹介

1) 池を掘ってシードバンクをリフレッシュ 【発表者：西廣淳（東邦大学）】

2) 行政発信の小さな自然再生 豊田市岩本川モデルの挑戦

【発表者：山本大輔（豊田市矢作川研究所）・伊藤匠（(一社)ClearWaterProject）】

3) 河川整備で活かす小さな自然再生の取り組み紹介 【発表者：竹内えり子（(株)建設技術研究所）】

4) 小さな自然再生のための水理検討 入門編 【発表者：原田守啓（岐阜大学）】

③ 「小さな自然再生」研究会発足と現地研修会の案内 【発表者：後藤勝洋（JRRN事務局）】

■ 会場からのコメントと議論

主催：林博徳（九州大）、三橋弘宗（兵庫県立大）、原田守啓（岐阜大）

協力：「小さな自然再生」研究会、日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)

